

妊娠 4 か月以後の死産を証明するために医師・助産師の作成する証書です。

死 産 証 書 (死胎検案書)

この死産証書（死胎検案書）は、我が国の死産統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

死産児の男女別	1 男	母の氏名						
	2 女	妊娠週数		満	週	日		
	3 不詳							
死産があったとき	平成 年 月 日		午前・午後		時 分			
死産児の体重 及び身長	体重 グラム		身長 センチメートル					
胎児死亡の時期 〔妊娠満 22 週以後の 自然死産に限る〕	1 分娩前 2 分娩中 3 不明							
死産があったところ 及びその種別	死産があった ところの種別		1 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他					
	死産があったところ							
	〔死産があったところ の種別 1～3〕 施設の名称							
単胎・多胎の別	1 単胎 2 多胎（ 子中第 子） 3 不詳							
死 産 の 自然人工別 ◇胎児を出生させることを 目的として人工的処置を 加えたにもかかわらず死 産した場合は「自然死産」 とします。	1 自然死産 2 母胎保護法による人工死産 3 母胎保護法によらない人工死産 4 不明							
自然死産の原因 若しくは理由又は 人工死産の理由 ◇Ⅰの（ア）の欄には直接原因 又は理由を胎児の側か母の 側のいずれかに分けて書き、 さらにそれと因果関係のある 原因又は理由があれば （イ）欄（ウ）欄と続けて、 それぞれ胎児又は母の側に 分けて書いてください。 ただし、胎児又は母の側いず れか決めかねる場合は、母の 側に書いてください。 ◇自然死産か人工死産か不明 の場合は、自然死産の欄に書 いてください。	自然死産の場合			人工死産の場合				
			胎児の側	母の側	母体保護法に よる場合	1 母胎側の 疾患による	疾患名	
	Ⅰ	ア 直接原因 又は理由				2 その他	理由	
		イ （ア）の原因				母胎保護法に よらない 場合	1 母胎側の 疾患による	疾患名
		ウ （イ）の原因					2 その他	理由
	エ （ウ）の原因							
Ⅱ	直接には死産 に関係しない が、Ⅰ欄の経過 に影響を及ぼし た傷病名等							
胎児手術の有無	1 無 2 有 （部位及び主要所見 ）							
死胎解剖の有無	1 無 2 有 （部位及び主要所見 ）							
1 医 師 2 助産師	上記のとおり証明（検案）する 証明（検案）年月日 平成 年 月 日 本証明書（検案書）年月日 平成 年 月 日 〔病院、診療所若しくは助産所の名称及び 所在地又は医師若しくは助産婦に住所〕 番地 （氏名） 印 番 号							